

過去最高に暑い夏となった函館も、徐々に秋めいてまいりました。

これからの季節、例年、ヒグマが冬眠に備え食料を探して活動を活発化させる時期になります。



特に、野山の散策、キノコ採り、溪流釣り、農作業に当たる皆さんには、

- ⇒ 野山には1人で入らず、複数で行動する、入山するときは、鈴やラジオ等を持って、会話しながら、人の存在を知らせる。
- ⇒ ヒグマは、身近な場所へ出没するケースも散見されていますから、新聞やテレビなどで、ヒグマの出没情報等を確認しておく。
- ⇒ ヒグマは、人間が食べるものや生ゴミの味を覚えると、それを目当てにゴミ捨て場などに繰り返し出没するようになりますから、ゴミを野外に放置したり、埋めたりしない。
- ⇒ ヒグマのフンや足跡、草や木等が食いちぎられた跡などを見つけたときは、すぐに引き返す。
- ⇒ 万が一、ヒグマに遭遇した場合は、逃げたり、さわいだり、慌てて行動すると、かえってヒグマを興奮させ、襲われる危険がありますから、ゆっくりと静かに立ち去る。

ということにも充分に注意をお願いします。

次に、10月11日から20日までの10日間、**全国地域安全運動**が展開されます。

この運動は、全国一斉に期日を定めて、地域の安全に平素からご尽力いただいております防犯協会の皆さんや関係機関・団体の方々、そして警察が、平素からの連携を確認しながら一層緊密に結びついて安全を守る活動を強化し、「みんなで築こう、安全で安心な大地」のスローガンの実現に取り組んでいこうとするものです。



防犯協会の皆さんをはじめ、地域安全に資する関係機関・団体及び警察が期間を定めて、地域安全活動を更に強化していくとともに、相互の連携を一層緊密にして、地域安全活動の効果をより高め、その浸透と定着を図ることにより、安心して暮らせる地域社会の実現を図ることを目的としています。



そこで皆さんへ、特にお願いしたいのは**以下の3点**です。

その一つは、**10月11日を「安全安心なまちづくりの日」**として、国民の防犯に対する意識と理解を深めることを通じて犯罪に強い社会の実現を目指すものです。

犯罪のない安全で安心して暮らすことのできる社会を実現するため、一人一人ができる範囲の地域安全活動に取り組んでいくことにつきまして、どうぞご理解とご協力を宜しくお願い致します。

その二つは、**特殊詐欺、SNS型投資・ロマンス詐欺の被害防止について**です。

「+」から始まる国際電話番号が使用される特殊詐欺被害が多発しています。

海外との電話が不要な方は、「国際電話不取扱受付センター」（電話番号0120-210-364）への利用休止申込みが効果的です。

また、偽の警察手帳や逮捕状をビデオ通話等で見せ、「あなたの口座が犯罪に使われている。あなたを逮捕する。」などと言ってだます詐欺被害が多発しています。

警察は、捜査対象者にビデオ通話をしたり、警察手帳や逮捕状の画像を送ったりすることはありません。



SNS、電話、メールなどでトラブルに巻き込まれた話や、投資のもうけ話などをされたときは、詐欺を疑い、すぐに相手との連絡を絶って御家族や警察(警察相談専用ダイヤル#9110)に御相談ください。

北海道警察公式防犯アプリ「ほくとポリス」では、特殊詐欺被害やその予兆と考えられる事案の発生情報を配信しています。

被害を防ぐためには、詐欺の手口を知ることがとても大切ですので、是非インストールして御活用ください。



その三つは、**子供と女性の犯罪被害防止**についてです。

地域の見守りの目を増やすことは、犯罪の未然防止や防犯力の向上にもつながることが期待できます。

ウォーキングや買物、犬の散歩等の日常生活の中でできる「ながら見守り」と、不審者等発見時の早期通報に御協力願います。

路上、電車などで危険な場面に遭遇した際には、防犯ブザー等の防犯グッズのほか、痴漢対策機能等が搭載された北海道警察公式防犯アプリ「ほくとポリス」が有効です。



終わりに、10月を迎え、間もなく冬の扉が開きます。

道路環境は一変し、道路は滑りやすくなり、吹雪では視界が遮られることがあります。

例年のことではありますが、冬道に慣れるまではしばらくの時間を要します。

冬の厳しい気象状況下では、車は止まりにくいということを念頭に、夏よりも慎重な安全確認、制動のチェック、実勢速度を下げた運転を心掛けるなど、車の運転には十分に注意が必要となります。

今のうちから心の準備をしておきましょう。

令和7年10月1日

函館中央警察署長

佐藤 伸治